

広報

# かわごえ環境ネット

2023年7・8月号 No.192



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

キツネノカミソリはあまりなじみがないかもしれませんが、同じ仲間のヒガンバナは至る所でみられますが、キツネノカミソリは生息地が限られていて、川越では数か所にあるだけです。中でもここ、市民の森第8号は最大の群落を誇ります。キツネノカミソリについての詳しい生態は4ページのコラム「自然を訪ねて」をご覧ください。

(賀登環)

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

- 2:【報告】春の里山 自然観察 & クリーン活動 (4月29日開催)  
【報告】総会・懇親会 (5月27日開催)
- 3:【報告】川越市内の川の水質調査 (5月31日～6月5日実施)  
【報告】かすみかせきた環境対話カフェ (第1回:～聞いてみよう!気候変動アクション～)
- 4:【コラム】社会と環境について思うこと (24)『蔵造りの「壁」 見方と見え方』  
自然を訪ねて (10)『キツネノカミソリ』
- 5:【募集】夏の郊外クリーン活動 / “川越市環境計画” 見直し勉強会 / 「アースデイ川越」 出展者
- 6:かわごえ環境ネットからのお知らせ
- 7:会員からのお知らせ
- 8:イベントカレンダー (2023年7月1日～8月31日) / ボタニカルアート (4) サンコタケ

残したい川越の風景 (10) 盛夏に濃いオレンジ色の花を咲かせるキツネノカミソリ (市民の森第8号で2022年8月20日撮影)



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



【報告】春の里山 自然観察 & クリーン活動 (4月29日開催)



春の里山 自然観察 & クリーン活動 集合写真



森の中で



活動終了後に横山副理事長があいさつ



植物の説明を行う稗島さん 89歳です!!

春の里山 自然観察 & クリーン活動

2019年から始まった「春の里山自然観察&クリーン活動」。5回目の今年は4月29日(土) 昭和の日に(仮称)川越市森林公園計画地で実施、新型コロナウイルスも収束に向かいつつあり、感染防止対策も参加者に任せながらの活動でした。

参加者は9時30分に集合、市民の方々16名、スタッフ8名、合計24名

でした。参加者の年齢は17歳~75歳と幅広い年齢構成で、元気さやレスポンスの高さを感じさせる高齢の方には脱帽でした。

活動に先立ち、下見を4月28日(金)に行ったところ、ゴミがほとんどありませんでしたので、主に植物観察を行っていただきました。

ゴミが少なくなった理由は、かわごえ環境ネット自然環境部会や「木びっこの会」等の保全活動と周辺市民の協力により、森がよりきれいに保たれている成果と考えられます。

参加者は、かわごえ環境ネットが2021年に改訂した、新訂版「川越の自然」を使用しての観察、A組は稗島さん、B組は横山さんの案内と説明、新緑の森の中を、キンラン、ギンランを見ながら植物観察をしました。説明が初心者にもわかりやすい内容で参加者に好評でした。

11時30分、集めたごみ(わずか)を川越南文化会館(ジョイフル)で分別し、集合写真を撮り11時45分に解散しました。なお、年々春が早まっており、2024年は4月21日(日)ごろに開催予定です。(菊地三生)

高校生の自然観察ガイド(同時開催)

4月29日(土)の午前中、高校生の(仮称)川越市森林公園計画地での観察会が行われました。2月にかわごえ環境ネット主催の「かわごえ環境フォーラム」があり、そこに参加された川越女子高校の理科担当の先生とのご縁がきっかけです。当日は川越女子高生物部の生徒さん10名、越谷北高の生物部生徒さん20名が見えましたので2グループにわけ、理事長の小瀬、自然環境部会の賀登がご案内しました。

生物部の生徒さんだけになかなか反応がいいです。「森のさんぽ道」を進みながら、元は農用林だった雑木林の履歴、現在の植生などの説明も熱心にメモをとりながら聞いてくれました。中間点あたりの「第2武蔵野ふれあいの森」で自由観察にしますと、一気にパワー全開で地面にしゃがみ込み昆虫をさがす生徒、林床の草本に注目する生徒...この時を待っていましたと言わんばかりの光景でした。越谷北高の生徒さんは生物部でも昆虫が対象のようで、いでも、捕虫網、サンプル瓶とすでに道中でかなりゲットしている様子。

アカマツの樹皮をめくりながら、「こんなところにラクダムシがいるかもしれませんよ。」と私が話すと「もう、捕っています。」と越谷北高の生徒さん。ホントにビックリです。自然環境部会のメンバーが何年もここで生き物調査をしていてまだお目にかかったことがないのに!ここまでの道中で、ヒノキの樹皮から捕ったそうです。

生徒さんたちの若いエネルギーに未来を感じました。やがて彼らが自然の成り立ち、生物多様性などに思い至ったとき、何らかのアクションを起こしてくれるのではないかと。(賀登環)



高校生の自然観察ガイド 集合写真



(左) 生徒の観察の様子、(右) ラクダムシ

【報告】総会・懇親会 (5月27日開催)

2023年度総会

本会の最高議決機関である総会を5月27日(土) 10:00-11:30に開催しました。出席者は111名(うち委任92名)で総会は成立し、活発な質疑が行われました。議案はすべて原案の通り承認されました。総会議案書は本会ホームページ(<https://kawagoekankyo.net/news/003314.html>)に公開しています。

懇親会

2020年1月以来懇親行事は中止していましたが、総会終了後、約3年半ぶりに初雁公園内で懇親会を開催しました。4年前の総会後の懇親会と同様に屋外で、小江戸南古谷農園に作っていただいた野菜たっぷりのおいしいお

弁当を食べながら、参加者同士の懇親を深めることができました。(小瀬博之)



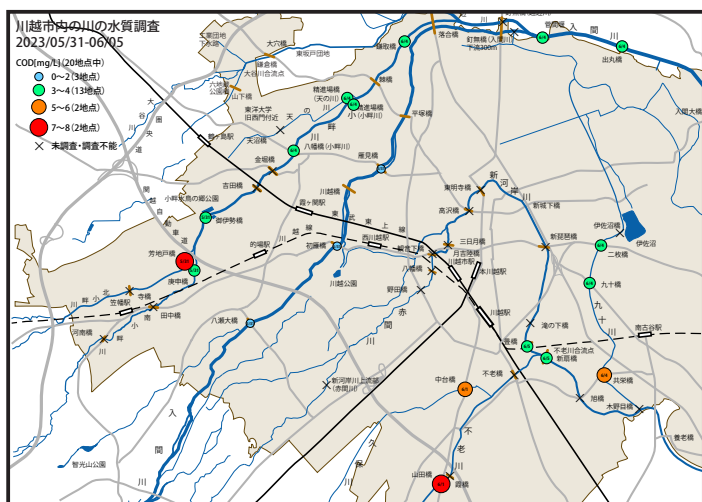
総会の様子



懇親会の様子



【報告】川越市内の川の水質調査(5月31日～6月5日実施)



19年目の今年は全国一斉の6月4日(日)に参加者の都合が合わず、5月31日(水)、6月1日(木)、4日(日)、5日(月)にかけて20地点の水質調査を実施しました。

調査結果

6月2日から3日にかけての大雨の前後での調査でした。COD(化学的酸素要求量)の区分で0～2mg/Lが3地点(2022年は1地点)、3～4mg/Lが13地点(同22地点)、5～6mg/Lが2地点(同0地点)、7～8mg/Lが2地点(同0地点)でした。(小瀬博之)



入間川八瀬大橋での採水の様子(5月31日)



入間川出丸橋での採水の様子(6月4日)

CODの水質調査結果(2023年5月31日～6月5日午前採水・測定)

実施概要

毎年6月に実施される「身近な水環境の全国一斉調査」に参加する形で、本会では2005年以来川越市内の川の水質調査を6月に行っています。

【報告】かすみがせききた環境対話カフェ(第1回:～聞いてみよう!気候変動アクション～)

かすみがせききた環境対話カフェ

第1回 聞いてみよう

6/11 日曜日 10時-12時

聞いてみよう! 気候変動アクション

講師 高橋真樹氏  
川越市立環境センター(環境コーディネーター)

【内容】  
【1】気候変動アクションとは、気候変動とは何か、私たちができることは何か、などをわかりやすくお話しいただきます。  
【2】日本SDGsをそれぞれの地域で実践している事例を共有し、地域で実践している事例を共有し、実践を推進するためのヒントを共有します。

かすみがせききた環境対話カフェとは

- 1回 聞いてみよう 6/11
- 2回 歩いてみよう 7/9
- 3回 考えてみよう 9/10
- 4回 伝えてみよう 10/22

全4回 各回 10:00-12:00

かすみがせききた環境対話カフェのちらし

開催趣旨

6月11日(日)に霞ヶ関北自治会環境部とかわごえ環境ネットの共催で「かすみがせききた環境対話カフェ」を実施しました。

地域環境対話活動とする本イベントでは、地域での交流から環境問題への理解を深める機会を設け、地域ぐるみでできる気候変動対策を考えていこうというイベントです。全4回で構成されており、今回は「聞いてみよう!気候変動

アクション」という気候変動についての学びの回で、参加者は24名、見学者7名にお越しいただきました。

第1回の実施結果

前半は、川越在住ノンフィクションライター/環境ジャーナリストの高橋真樹さんをお招きし、気候変動とは、私たちができることは何か、などをわかりやすくお話しいただきました。後半は、2グループに分かれ、グループ対話を行いました。参加者の自己紹介、環境問題で気になっていることを話したり、講師の高橋さんへ質問をしたりと、時間はあっという間に過ぎていきました。

参加された方からは「環境のことをさらに自分ごととして考え、実行するきっかけとなりました。」「とても楽しく学習できた。」「子ども達にも聞いてもらえてよかった。」などの感想がありました。また、ゴミとエネルギーの問題は身近な話題でもあったためか、1つのグループでは高橋さんへの多くの質問があり、参加者同士の対話もはずみました。お話を聞いて知識を得るだけでなく、会話することで得られる気づきや疑問も多くありました。

第2回以降の予定

同じ地区に住む様々な年代の方が「気候変動」という1つのキーワードのもと、

交流を深めた「かすみがせききた環境対話カフェ」。7月開催予定の第2回は、第1回で参加者の方から出た意見や質問にも視点を置きながら霞ヶ関北を歩く「歩いてみよう!気候変動アクション」を実施予定です。また、第3回、第4回では、自治会でできる気候変動アクションのアイデアを出し、どうしたら具体化できるかを参加者みんなで考えていく予定です。

(実行委員会代表:小川夕子)



高橋真樹さんの講演



グループワークの様子



【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと (24) 蔵造りの「壁」 見方と見え方

「みんなでつくる自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」の実現を目指し活動を行ってきたのが「かわごえ環境ネット」と冒頭に記されている「川越市環境行動計画」の中にある「歴史と文化を生かした地域づくり」という項目がある。地域の歴史や文化に興味を持ち…と記されている内容は、私が行っている出版社「仙波書房」の方向性と合致する。昨年発行の『川越の建物 蔵造り編』の中から、蔵造りの「壁」について紹介したい。

川越では、土蔵造りの店蔵を「蔵造り」と呼ぶ。この蔵造りの壁は、竹を格子状に組んだ「竹木舞」(たけこまい)と呼ばれる心材に、土を塗り、乾かし、という作業を複数回繰り返して、厚みを増していく。材料は土と砂、それとスサと呼ばれるワラを細かく切ったものと、水を混ぜて、こねる。材料の比率を変えることで、心材に近い塗りの層は材料のキメが粗く、外側の層になるほど、材料のキメが細くなるよう調整されている。

土壁が仕上がった後には、さらにその上から漆喰を塗り重ねていく。漆喰は貝殻やサンゴなどを材料にした消石灰に、ノリとしての材料である水草を混ぜたもので、白色の壁にな

る。土でできた壁の上に白い漆喰を塗り重ね、これが蔵造りの壁のベースになる。川越の蔵造りは黒漆喰の建物が多く、この黒い漆喰は白漆喰の材料に高級墨の材料でもある油煙(ゆえん)で得られるススを混ぜ、白漆喰の壁の上に塗り重ねていく。

その後は、磨きの作業を行う。まずは粗い目地の布で磨き、次は細かい目地の布で、そして最後は手のひらでこすって磨く。段階的に磨きこむことで、表面は鏡のように光り輝き、光沢が出てくる。現在この技術は車のボディ磨きなどにも応用されている。

それから、外壁の漆喰の壁は雨に弱く、雨にあたる部分は黒漆喰の部分が落ち、下地の白い壁が見えている蔵も少なくはない。黒壁の層は白漆喰の壁の上、わずか紙1枚分くらいの厚さしかなく、人の手が届く部分には養生用の柵が取り付けられ、触れられないような蔵も見られる。

さて、昔、川越との商取引でつながっていた東京日本橋には蔵造りの通りがあり、そこに多く存在した黒漆喰の蔵造りの壁を川越はお手本にしたとも言われている。現在はビルが立ち並ぶ日本橋には蔵造りは存在しないが、

川越には今もなお、多くの蔵造りが残る。これは、先人たちの努力と、古い建物の保存に向けた官民の取り組みがあったことが、大きい。

川越の建物の歴史や概要を少し知ることで、これまでと比べて建物への興味も増し、観察力も高まる。また、建物を通し、川越をより知ることでもできる。

蔵造りが並ぶ通りを歩いたときに「黒漆喰の壁」と、壁に興味を持てる人、それは普通の背景から素敵な景色へと、建物の見方、見え方が変化した人なのかもしれない。

多くの方にとっては、建物が単なる背景にしか見えていないのでは…と思われ、残念である。

本を通して、人々の見方、見え方をどのように変化させていくのか。そこにはまだまだ工夫が必要とされるところである。(神谷利一)



【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (10) キツネノカミソリ

キツネノカミソリは、ヒガンバナと同じヒガンバナ科の多年生球根植物です。ヒガンバナほどには認知度もなく、生息地も限られていて、埼玉県では準絶滅危惧(NT)に指定されています。名前の由来はオレンジ色の燃えるような色が狐火みたいで、葉が日本風のカミソリみたいということのようです。

川越市では2008年に池辺公園が整備された際、調査でキツネノカミソリが見つかり、以後、かわごえ環境ネット自然環境部会が保護育成を担ってきました。その後、植物調査の折などに他の地域で

も見つかり、特に市民の森第8号では表紙の写真のように圧倒されるほどの景観です。

キツネノカミソリの生態は少し変わっています。3月ごろにまず葉が出てきて生い茂りますが、やがて5月ごろには枯れて姿を消します。8月ごろになると今度は花だけが咲きます。花の数は全体の株数よりもかなり少ないです。花が枯れた後には黒い5mmぐらいの球形の種ができます。ここがヒガンバナと違うところで、この種をまくとキツネノカミソリが育ちます。ただ、花が咲くまでには7~8年かかり、

なかなか増やすことは難しく、池辺公園でも世話をしているが増えたという実感がなく、現状維持がやっとなです。そうしていると周りにあるヒガンバナが押し寄せてきて、駆逐されないとも限りません。

ヒガンバナは3倍体なので種子はできませんが、球根が増えて栄養繁殖します。その勢いたるやすすいものです。各所でヒガンバナを植える活動があるようですが、増えすぎる状況もあります。ひっそりと現状維持で咲くキツネノカミソリの方がサステナブルとは思いませんか。

(賀登環)

キツネノカミソリのライフサイクル

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
休眠期		展葉期		休眠期		開花期		休眠期			

川越市のキツネノカミソリの分布

市民の森第8号	池辺公園	川越水上公園	安比奈親水公園	川越館跡斜面帯
川越では最大の群落。10000株近くあると推察。	公園全体に点在している。株数は1000位。開花数は昨年のは300ほど。	河畔林に点在。株数は未確認だが池辺公園よりかなり多い。	北東の雑木林の中に点在。数は多くない。	川越館跡史跡公園の向かい側、旧ゴルフ場脇の斜面帯に500株くらい。

## 【参加者募集】「夏の郊外クリーン活動」7月17日（月曜日・海の日）実施



**夏の郊外  
クリーン活動のお知らせ**

かわごえ環境ネットでは年に4回のクリーン活動をしており、多くの方の参加をお待ちしております。

日時 2023年 7月17日（月）海の日  
行程 9時30分「やすらぎのさと」入口に集合（川越市大字小仙波867-1）  
トングとごみ袋を配布後、グループ毎に活動を開始  
11時30分「やすらぎのさと」で別荘解散

参加申込 7月9日（月）午前10時～ 電話で環境政策課に ☎ 049-224-5866  
当日の連絡先 菊地 ☎ 080-5546-2362  
メール kikums@beige.ocn.ne.jp

夏の郊外クリーン活動

川越の自然  
見直し勉強会  
頒布中

かわごえ環境ネット  
事務局 川越市環境部環境政策課  
☎ 049-224-5866（直通）

かわごえ環境ネットでは、春夏秋冬に年4回のクリーン活動をしております。夏は7月17日（月）に活動を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

### 実施概要

日時：7月17日（月・海の日）9:30-11:30  
場所：川越市民聖苑やすらぎのさと（川越市小仙波 867-1）

### 参加申込

7月3日（月）10:00 から電話で環境政策課（Tel.049-224-5866）に連絡

### 当日の連絡先

かわごえ環境ネット 菊地  
携帯電話番号 080-5546-2362  
E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

### 今後の予定

「秋のクリーン活動」は10月7日（土）、「冬の川越 中心市街地 歳末まち美化活動」は12月24日（日）を予定しています。

### 新訂版『川越の自然』を有料頒布

2021年2月に発行した『新訂版 川越の自然－雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねて－』（A5判、180ページ、フルカラー）を当日有料頒布します。



## 【参加者募集】川越市「環境基本計画」「緑の基本計画」「環境行動計画」見直し勉強会（7月26日）

### 3つの計画の経緯

川越市では、環境の保全に関する施策を総合的・計画的に実施するために「川越市環境基本計画」を策定しており、現行の「第三次環境基本計画」は、緑に関する施策を定めた「川越市緑の基本計画（平成28年3月改訂版）」と合冊されて平成28年（2016年）3月に策定されています。これらの計画の基準年度は平成28年度（2016年度）、目標年度は令和7年度（2025年度）となっています。

「川越市環境行動計画」は、将来の望ましい環境像の実現に向けた市民、事業者及び民間団体の行動計画としてかわごえ環境ネットが川越市と協働して作成したもので、平成20年（2008年）1月に初めて策定された「川越市環境行動計画（かわごえアジェンダ21）」を、平成29年（2017年）2月に全面改訂し

「川越市環境行動計画（平成29年2月改定）」が最新のものとなっています。

### これまでの活動

かわごえ環境ネットでは、2005年度から2007年度の3年間にかけて「川越市環境基本計画勉強会・検討会」（仮称）かわごえアジェンダ21検討委員会」「環境行動計画「かわごえアジェンダ21」作成委員会」を設置して、次期環境基本計画への提言や川越市環境行動計画の原案の作成を行いました。

また、2014年度から2016年度の3年間にかけて、「第二次川越市環境基本計画・かわごえアジェンダ21見直し勉強会」「新かわごえアジェンダ21検討会」（仮称）かわごえアジェンダ21作成委員会」を設置して、同様の活動を行ってまいりました。

過去の審議結果等は、かわごえ環境ネット Wiki で確認できます（[https://](https://wiki.kawagoekankyo.net)

[wiki.kawagoekankyo.net](https://wiki.kawagoekankyo.net)）。

### "川越市環境計画"見直し勉強会（第1回）開催

日時：7月26日（水）9:30-11:30  
場所：川越市役所地階修養室（川越市元町1-3-1）

現行計画の目標年度が2年後に迫って、今後新たな計画が策定される見込みです。そこで、2023年度から2025年度にかけて「第三次川越市環境基本計画」「川越市緑の基本計画（平成28年3月改訂版）」「川越市環境行動計画（平成29年2月改定）」を見直し、次期計画に向けた提言または原案の作成を行うための活動を行ってまいります。

最初の活動として、現行の計画の全体を把握して今後の活動の方向性を検討します。関心のある会員内外のどなたでもご参加いただけます（予約不要）。



## 【後援・出展者募集（-7/18）】「アースデイ川越 in 昭和の街 2023」10月1日（日）開催

アースデイは、みんなの未来のために、かけがえのない地球環境を守り、すべての人々と平和で安全な世界を作ることを目指す運動です。川越では1999年から開催され、今回「アースデイ川越 in 昭和の街 2023」として25回目を迎える市民参加型イベントです。

現在は、国連の「SDGs（持続可能な開発目標）」をメインテーマに、子ども

から大人まですべての人が持続可能な社会について考えるための提案を続けています。

かわごえ環境ネットはこのイベントを後援しています。7月18日（火）までSDGsに関する活動を行っている企業・団体等の出展者を募集しています。開催日は10月1日（日）10:00-15:00、会場は蓮馨寺（川越市連雀町7-1）で

今回はテーマを「ミライのビックリ箱（子どもに驚きの体験を）」と定めて、SDGs達成の未来が心に刻まれるような出展をしていただきたいと思います。

詳しくは右のQRコードからアクセスできるアースデイ川越ホームページ（<http://showanomachi.net/earthday>）をご覧ください。





## 報告

## 理事会・事業運営委員会

## 4月19日(水) 事業運営委員会・理事会

①総会議案書の読み合わせ・最終調整、会計監査の報告、②「2023 森フェス in 川越」の開催承認、③川の一斉水質調査は参加者の都合で調査日を設定、④「新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針(2021年4月28日改定)」の廃止

## 5月17日(水) 事業運営委員会・理事会

①理事変更届の承認(川越環境保全連絡協議会鈴木崇弘理事→辰野聡彦理事)、②2023年度総会の役割分担の決定、③腕章を30個発注、④「2023 森フェス in 川越」実施日の決定、⑤川越市環境基本計画・緑の基本計画・環境行動計画見直し勉強会の開催の決定(第1回は7月26日)。第2回以降はオンライン主体で実施予定。

## 6月14日(水) 事業運営委員会・理事会

①「アースデイ川越 in 昭和の街 2023」の後援等名義使用許可承認、②川の水質調査結果報告と今後の実施方法の見直しの提案、③腕章の納品、④「夏の郊外クリーン活動」の熱中症対策として

飲料購入の承認、④同日現在の会員数は個人142、民間団体24、事業者26、行政1の計193(理事長 小瀬博之)

## 社会環境部会

5月12日(金)は7名、6月10日(金)は4名で13:30-14:30に川越市役所7E会議室にて例会を実施

## 報告事項

①(5月)春の里山自然観察 & クリーン活動、②(6月)総会、川の水質調査

## 協議事項

①(5月)川の水質調査参加者の確認、②(6月)夏の郊外クリーン活動の参加者確認、③社会環境部会の活動(環境講演会、かすみがせききた環境対話カフェ、クリーン活動、バスツアー)の検討(バスツアーは取り下げ)、④全体事業の予定確認、⑤本紙コラムの担当者の確認

(社会環境部会代表 増田知久)

## 自然環境部会

5月例会は12日(金)6名参加、6月例会は14日(金)7名参加、川越市役所7E会議室にて開催された。

## 1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動:4月24日(月)20名参加、キンラン・ギンランの株数調査、5月8日(月)11名参加 林内観察 エゴノキが満開、5月22日(月)18名参加 希少種の株数調査 イチヤクソウ600株、ノヤマトンボ・ヤマユリ等、②池辺公園定例活動:5月9日(火)9名参加 公園内の植物調査137種、③生き物調査:5月13日(土)川越水上公園4名参加 植物167種 野鳥10種 昆虫10種

## 2. 協議事項

生き物調査は環境の特性に応じて行い、入間川流域、小畔川流域などトライする。次期環境基本計画への要望や意見について話し合った。

(自然環境部会代表 賀登環)



満開のエゴノキ  
(5月9日)

イチヤクソウ  
(5月22日)

## 予告・募集

## 会合

◆**広報委員会** ①7月5日・②8月2日(水) 9:00-9:30

●**社会環境部会**(第2金曜日) ③7月14日13:30-14:30(8月は休会)

●**自然環境部会**(第2金曜日) ③7月14日14:30-16:00(8月は休会)

◆**事業運営委員会** ④7月19日(水) 9:00-10:00・⑤8月23日(水) 9:30-11:30

◆**理事会** ④7月19日(水) 10:00-11:30(8月は休会)

★川越市「環境基本計画」「緑の基本計画」「環境行動計画」見直し勉強会(第1回) ⑥7月26日(水) 9:30-11:30

会場: ①②オンライン(URLは委員に別途案内)、③④川越市役所7階7E会議室(川越市元町1-3-1)、⑤⑥川越市役所地階修養室、\*①②は会員が、⑥はどなたでも自由に参加できます。

## 自然環境部会の活動

★**A**「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日)7月10・24日,9月11・25日(月)9:30-12:30(8月は休止) 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

★**B**池辺公園定例活動(毎月第2火曜日)7月11日,8月8日,9月12日(火)9:30-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302)

**A B**の問い合わせ先:賀登(Tel.049-234-9366)

★**C**田んぼの生き物調査7月1日(土)9:30-13:00、かわごえ里山イニシアチブと共催(定員に達し参加受付終了)

★**D**キノコの観察会7月9日(日)9:30-12:00、(仮称)川越市森林公園計画地(定員に達し参加受付終了)

★**E**虫の観察会8月5日(土)9:30-12:00、(仮称)川越市森林公園計画地、25名募集、参加費200円、講師:佐々木英世氏

申込先: ⑥は7月3日(月)10:00から電話で環境政策課(Tel.049-224-5866)

## 広報委員会

2023年9・10月号(No.193,9月1日発行)原稿募集(会員対象)

提出期限:8月8日(火)

提出方法:原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出。

本会「ホームページ」「note」への投稿 会員であれば随時対応します。koho@kawagoekankyo.netへご連絡を。

## NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

### 近況報告

5月25日(木)の田植え前準備中にたくさんのカブトエビを発見しました。これほど多くのカブトエビを発見したのはいまだかつてありませんでした。かわごえ里山田んぼには確実に生物多様性が戻ってきています。



たくさんのカブトエビ 田んぼの中を泳ぎ回るカブトエビ

### 予告

8月27日(日) 9:30より川越市北部地域ふれあいセンター(川越市山田1578-1)において案山子(かかし)づくりを行います。個人、グループ、または、ご家族で参加されてはいかがでしょうか。材料は準備しますが、テーマがあればテーマに合わせた材料をご持参ください。製作者の名前と共にかわごえ里山田んぼに約1か月間展示します。

**Facebook** <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

**HP** <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

## 福原ファームクラブ

横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

### 予告

◎**おいしく・楽しく農業体験** 場所: 明見院(川越市今福677) 近く、会費: 一家族1,000円(年間)、**1** 7月8日(土) 9:30-12:30 ごろ 大根、ニンジン畑の片付け他、**2** 7月(未定) トウモロコシ畑の片付け(8月は休み)

## 川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

### 報告

5月10日(水)は「リョウブの森」のヒサカキ、シラカシなどの照葉樹をかなり片づけました。

### 予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地「リョウブの森」の手入れ 7月12日(水) 8:30-12:00 「リョウブの森」の手入れの

続き。集合: 川越南文化会館(ジョイフル)、「(仮称)川越市森林公園」計画地で、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを行っています。奇数月の第2水曜日が活動日です。



5月10日今回は少ない参加者でがんばりました

## 小畔川の自然を考える会

賀登環 (Tel.049-234-9366)

### 報告

5月21日(日)に今年第1回の調査を行いました。場所は小畔川八幡橋の少し下流域を3か所。今回は川幅、流速、深さなども測定。石の裏を返して水生昆虫などもチェックしました。

### 予告

7月16日(日) 9:30-12:00 かほく運動公園(川越市霞ヶ関北6-28-2) 前の水辺再生ゾーンで魚類調査を行います。



魚類調査(5/21) 50cmのニゴイ(5/21)

## こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

### 報告

5月20日(土)3年3か月ぶりに一般参加者を受け入れての活動(参加者11名)。希少植物の保護、枯損木の伐倒、林内の下刈りに分かれて活動を実施。6月10日(土)「つるがしま市民環境まつり2023」に展示とワークショップ出展。



林内は夏の様相(5/20) 大盛況でした(6/10)

### 6-8ページの記号凡例

★: 本会主催・後援等一般公開行事 ●: 本会会員対象行事 ◆: 本会理事・委員対象会合 ◎: 本会会員等主催のイベント等 ○: その他(個別記事参照)

### 予告

◎**里山林保全活動** 7月22日(土) 8:30-16:00 (8月は休止)、場所: 東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100)、定員: 15名(高校生以上、事前予約必要)、作業: 枯損木の伐倒、林床の下刈り、希少植物の保護など。詳細はホームページをご覧ください。

**HP** <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

## 公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

### 予告

◎**伊佐沼でバードウォッチング**(毎月第2日曜日) 集合: 10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止、持ち物: 筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物、参加費: 一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

**1** 7月9日(日) 10:10-12:00 古代蓮が咲き始め、カイツブリやカルガモのヒナは元気に育っています。ヨシゴイも見られます。

**2** 8月13日(日) 10:10-12:00 夏休みです。お子さんと一緒にサギの仲間を探しましょう。

## 個人会員からのお知らせ

**松岡壽賀子さん(社会環境部会)**

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

### 予告

◎**かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」**会場: 高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース、参加費: 無料。持ち物: 直近2~3か月分の電気料金票。参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話ししています。個々の取組が減災・防災につながります。

**1** 7月12日(水) 10:00-11:30 「水・雨水の活用の仕方」

**2** 8月10日(木) 10:00-11:30 「水・雨水の活用の仕方」

水の使用量が増える季節。中学・高校でも行う理科の実験を通して雨水の活用も考えよう。節水にもつながります。



2023年7月

1 土 ★ 9:30 田んぼの生き物調査 (参加受付終了)
2 日
3 月 ○ 10:00 「夏の郊外クリーン活動」「虫の観察会」参加受付開始
4 火
5 水 ◆ 9:00 広報委員会
6 木
7 金
8 土 ◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験
9 日 ★ 9:30 キノコの観察会 (参加受付終了) ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
10 月 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
11 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動
12 水 ◎ 8:30 「(仮称) 川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
13 木
14 金 ● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
15 土
16 日 ◎ 9:30 かほく運動公園前小畔川水辺再生ゾーン魚類調査
17 月 海の日 ★ 9:30 夏の郊外クリーン活動 (要参加申込)
18 火 ○ 「アースデイ川越 in 昭和の街」出展者応募期限
19 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
20 木
21 金
22 土 ◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動
23 日
24 月 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
25 火
26 水 ★ 9:30 川越市「環境基本計画」「緑の基本計画」「環境行動計画」見直し勉強会
27 木
28 金
29 土
30 日
31 月

インターネットアクセス (QR コード)



ホームページ      Twitter      Facebook  
Instagram      YouTube      note

**おことわり** 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

2023年8月

1 火
2 水 ◆ 9:00 広報委員会
3 木
4 金
5 土 ★ 9:30 虫の観察会 (要参加申込)
6 日
7 月
8 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動 ○ 本紙 2023年9・10月号 (No.193) 原稿投稿期限
9 水
10 木 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
11 金 山の日
12 土
13 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
14 月
15 火
16 水
17 木
18 金
19 土
20 日
21 月
22 火
23 水 ◆ 9:30 事業運営委員会
24 木
25 金
26 土
27 日 ◎ 9:30 案山子 (かかし) づくり
28 月
29 火
30 水
31 木

ボタニカルアート (4) サンコタケ (アカカゴタケ科)



これがキノコ??? と疑いたくなるようなサンコタケ。黒褐色の粘液グレバに胞子を含んでいます。名前の由来は密教仏具

の三鈷 (さんご) です。仲間のアカカゴタケ科には、カゴタケ・カキノツメ・イカタケなど、出会うと嬉しくなるユニークな子実体のキノコがたくさん。私には特別なキノコです。それは(仮称)川越市森林公園計画地で出会って描いた画が国立科学博物館の植物画コンクールで初めて入賞し、『川越の自然を訪ねて きのこ編』を求めて環境政策課へ出かけた折、職員の方から勧められてかわごえ環境ネットに入会しました。果たして今年も再会できるでしょうか? (岡治)

広報 かわごえ環境ネット  
2023年7・8月号  
No.192

発行日: 2023年7月1日 編集・発行: かわごえ環境ネット 広報委員会  
事務局: 川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1  
Tel.049-224-5866 (直通), Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.lg.jp  
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>